

令和 5 年度 わかば教室の新設について

青少年育成課

1 現状と課題

わかば教室は不登校児童生徒の公的な居場所として運営しており、在籍する児童生徒数は年々増加傾向にある。わかば教室相談員とわかば教室の支援スペースの不足が生じていることから、令和 4 年度より、わかば教室相談員を 1 名増員し、わかば教室の活動教室を市役所北館 2 階に増室したところである。

今後、不登校及び不登校傾向にある児童生徒の増加により、わかば教室での受入れにも限界が来ると予想されること、様々な児童生徒を受け入れるための施設の整備が必要であること、わかば教室の設置場所が市北西部又は市東部の児童生徒にとっては遠方にあり利便性が悪いことなどから、市内複数地域でわかば教室を新設する必要がある。

〔不登校児童生徒数〕

(単位：人)

| 年度 | 小学校 | | | | | | | 中学校 | | | | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 計 | |
| R 1 | 4 | 8 | 7 | 15 | 22 | 27 | 83 | 75 | 108 | 111 | 294 | 377 |
| R 2 | 7 | 11 | 12 | 14 | 28 | 33 | 105 | 87 | 119 | 127 | 333 | 438 |
| R 3 | 15 | 13 | 23 | 34 | 30 | 51 | 166 | 106 | 155 | 153 | 414 | 580 |

〔わかば教室在籍者数〕

(単位：人)

| 年度 | 小学校 | | | | | | | 中学校 | | | | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|
| | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 計 | |
| R 1 | | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 7 | 6 | 14 | 14 | 34 | 41 |
| R 2 | | 1 | 4 | | 2 | 5 | 12 | 9 | 17 | 12 | 38 | 50 |
| R 3 | | | 2 | 2 | 2 | 6 | 12 | 13 | 26 | 11 | 50 | 62 |

2 対応策

(1) 体験活動型わかば教室の設置

現在、児童生徒に対して、体験活動「ピア・スペース」や小集団体験活動「アタック・ゴー」(以下「アタック・ゴー」)を実施し、これらの体験活動を通じて社会性や自立心を育成するとともに、わかば教室につなぐきっかけとしているが、わかば教室につながらない児童生徒もいることから、わかば教室とは異なるコンセプトによる教室の設置を進める。

アタック・ゴーは年 5 回実施しており、うち 1、2 回は少年自然の家を利用した 1 日又は 1 泊 2 日の活動を行っているが、わかば教室に入級できなくても、アタック・ゴーの活動には参加できる児童生徒もいることから、体験活動を中心としたわかば教室を設置し、児童生徒の社会的自立に向けての支援を行う。

① 場 所 少年自然の家 ((仮称) こどもの交流スペース「わかば」ウエスト)

② 実施日時 毎週 2 回 (10:00~14:30) 毎週水・金曜日

③ スタッフ わかば教室相談員 (2 名) 及び外部講師 (1 名)

④ 実施内容

○ 自主学习

○ 少年自然の家の既存施設を活用して、様々な体験や自然の中での活動を行うことで、児童生徒が小集団での社会性を身に付け、自立心を育成する。

・野外炊さん、木工工作、平荘湖周辺散策、サイクリング、登山、ボート体験、アスレ

チック等

- 少年自然の家周辺施設（ウエルネスパーク、総合運動公園、漕艇センター）と連携した支援を実施する。

・図書館での調べもの学習、スポーツ体験、カッター体験等

（２）学習支援型わかば教室の設置

今年度より、社会教育課において、地域住民の協力のもと、「夏休み子ども学習教室」を公民館で実施し、多くの小学生が参加している。また、公民館においては、ボランティア団体による学習機会が設けられている。

これら地域住民や退職教員の協力のもと、学習支援を必要とする児童生徒への学習の機会及び居場所を確保し、市内３か所の公民館において児童生徒の社会的自立に向けての支援を行う。

- ① 場 所 平岡公民館（(仮称)子どもの交流すぺーす「わかば」イースト）
加古川北公民館（(仮称)子どもの交流すぺーす「わかば」ノース）、
尾上公民館（(仮称)子どもの交流すぺーす「わかば」サウス）
- ② 実施日時 平岡公民館（火曜日）、加古川北公民館（月曜日）、尾上公民館（木曜日）
毎週各１回（10：00～12：00）
- ③ スタッフ わかば教室相談員（２名）及び外部講師（各１名）
- ④ 実施内容
 - 教育の機会確保を目指し、学習の支援を中心に実施する。
 - ボードゲームやカードゲームを通じて仲間づくりを支援する。
 - 公民館サークル活動団体との交流を図る。

3 令和５年度当初予算要求額

不登校児童生徒支援事業（(旧)不登校児童生徒適応指導事業） 5,522千円

4 今後のスケジュール

- 2月上旬 各会派へ不登校対策の拡充について説明
- 2～3月上旬 学習支援型わかば教室の外部講師の選出
- 2～3月中旬 新わかば教室に必要な物品等の購入
- 3月中旬 心理相談員及び外部講師へ事業説明
少年自然の家及び各関係公民館へ事業説明
- 4月上旬 定例校園長会で事業の説明
- 4月中旬 児童生徒の受入れ開始